

案件化調査

ケニア共和国 廃バッテリーリサイクルおよび環境マネジメントシステム構築案件化調査

企業・サイト概要

- 提案企業：エバーグリーン株式会社
- 提案企業所在地：北海道札幌市
- サイト・C/P機関：ナイロビ、マチャコス郡 / マチャコス郡政府、National Environment Management Authority

ケニア国の開発課題

- 経済成長に伴い廃棄物の処理問題が深刻化しており、同国開発計画および我が国援助方針でも言及されている。
- 自動車などから排出される廃バッテリーに含まれる廃液（希硫酸）の不適切な処理によって、処理場で働く従業員や近隣に住む地域住民に健康被害が発生している。

中小企業の技術・製品

- 環境に配慮した廃バッテリーの分解処理技術
 - ベルトコンベアによる自動切断機
 - 希硫酸の中和分離処理設備
- 日本水準の環境規制に対応した高い環境マネジメント能力

調査を通じて提案されているODA事業及び期待される効果

- 廃バッテリーを解体する専用の切断機と希硫酸の中和処理装置設備の設置を伴う環境マネジメントの導入によって従業員の健康と地域環境に配慮した処理を実践・拡大させることで、開発課題の解決を目指す。
- NEMAとの協働を通じて、廃バッテリーリサイクルに関する新たな下位法令を作成し環境法規制を強化・普及することで、現地産業の環境水準の底上げに貢献するとともに、本事業の市場での優位性を高めていく。

日本の中小企業のビジネス展開

- 廃バッテリーリサイクル事業の事業性を検証するとともに、現地の環境法規制を強化・普及させることで、当該企業による環境マネジメントの取り組みが事業の優位性となるような市場環境を整え、現地での更なる事業展開のための足がかりとする。

